

6月23日

金毘羅山・Y懸尾根 岩稜トレーニング 小川 弘二

山名	金毘羅山・Y懸尾根 岩稜トレーニング	山行名	6月例会
ルート	京田辺→江文神社駐車場→寂光院駐車場→江文神社→Y懸岩場→Y懸の頭→江文神社駐車場→京田辺		
山行日	2019年6月23日(日)	天候	曇り
参加者	リーダー：小川 サブリーダー：土岐・下坂 男性：若林、西川(洋)、木元、森本 女性：徳田、伊藤(典)、倉光、吉澤 参加者計 11名		

ルート概略図		コースタイム				
		地名	時：分	地名	時：分	
	Y懸の頭	発	07:00	頭		
	→ 昼食 → 懸垂下降	着	08:20		着	12:20
	↑ トレーニング	着	09:10	懸垂下降トレ	始	12:40
	↑ Y懸岩場				終	14:00
	↑ 駐車場	始	09:30			
		終	11:20			
		始	11:20	駐車場	着	15:30
					発	15:45
			11:50	京田辺	着	17:00
			12:10			

山行報告

当初の計画では、車3台(徳田さんは自分の車で)となったので寂光院までの縦走を考え、2台は江文神社の駐車場、もう一台は寂光院の近くに駐車した。

江文神社の駐車場は今日も満杯だったが、運よく管理人のおじさんがいたので無理を言い工事トラックの前に置かせて貰った。次回からはもう30分早く着くように計画する方が良いと考える。

車が多かったのでYケン取り付きの岩場は他の先行グループで一杯かと思いきや、誰もおらず、ラッキーだった。まず、S指導員により、基本動作の説明を受けた後、トップロープでビレイしながら一人ずつ、登り降りの練習を行った。ロープを2本持って行ったが、1本は30mしかなく、懸垂下降の予備練習に使用した。

その後、荷物を担ぎ、頭に向かって登攀開始。頭の手前で他グループがロープを張り訓練していたので、待ち時間を利用して昼食を取る。その後、頭まで登り、懸垂下降の練習を開始。始めは恐々だった人も途中から慣れてきて、スイスイと下降できるようになった。

懸垂下降のトレーニングが終わったのが14時となり、寂光院までの縦走は中止し、頭の岩を下ったところから谷に降り、元の駐車場に戻る。

ヒヤリハット なし

